

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券は帳簿価額による(償却原価法に基づいて算定した価額)。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品 定額法による減価償却を実施している。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金 期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残額

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	299,406,000	99,000	0	299,505,000
小 計	299,406,000	99,000	0	299,505,000
特定資産				
退職給付引当資産	3,785,909	618,469	0	4,404,378
国際交流事業基金(投資有価証券)	210,000,000	110,000,000	110,000,000	210,000,000
国際交流事業基金(普通預金)	20,257,043	111,491,238	110,587,560	21,160,721
小 計	234,042,952	222,109,707	220,587,560	235,565,099
合 計	533,448,952	222,208,707	220,587,560	535,070,099

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	299,505,000	—	(299,505,000)	—
小 計	299,505,000	—	(299,505,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	4,404,378	—	(4,404,378)	(4,404,378)
国際交流事業基金(投資有価証券)	210,000,000	—	(210,000,000)	—
国際交流事業基金(普通預金)	21,160,721	—	(21,160,721)	—
小 計	235,565,099	—	(235,565,099)	(4,404,378)
合 計	535,070,099	—	(535,070,099)	(4,404,378)

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	額 面 千円	帳簿価額 (a)	時 価 (b)	評価損益 (b)-(a)
公社債				
オリックス	100,000	99,505,000	107,690,000	8,185,000
三井住友銀行	70,000	70,000,000	71,481,000	1,481,000
大和証券グループ	70,000	70,000,000	70,333,000	333,000
ソフトバンク	50,000	50,000,000	49,944,000	△ 56,000
リパッケージ・ユーロ円債(SMFG)	50,000	50,000,000	50,000,000	0
シルフリミテッドシリーズ50298	50,000	50,000,000	49,800,000	△ 200,000
ABNアムロ銀行	40,000	40,000,000	40,132,000	132,000
シングルネーム・クレジットリンク債	30,000	30,000,000	30,000,000	0
クレディセゾン	30,000	30,000,000	30,162,000	162,000
広島ガス	10,000	10,000,000	10,010,000	10,000
リパッケージ・ユーロ円債(COMMERZBANK)	10,000	10,000,000	10,000,000	0
合 計	510,000	509,505,000	519,552,000	10,047,000